

桐ヶ丘円卓通信

Vol.07

円卓会議とは、地域で活動する団体が相互に「繋がり」、「共有」、「応援」する場です
今回は、桐ヶ丘地区で活躍する社会福祉法人を紹介します

～社会福祉法人ってなに？
どんな活動してるの？～

社会
福祉

つながる！ひろがる！
地域のきずな

社会福祉法人とは / 昭和20年代に創設

その活動の公益性や健全な発達を図るため、税制措置が講じられています

戦前、多くの社会事業家が、支援を必要とする人びとのために私財を投じ、寄附を集めながら、不況や凶作など数々の苦難を乗り越え、社会福祉事業（社会的弱者の援助）を継続してきました

戦後、社会福祉法人は、新しい制度の下、公的サービスの受け皿となり、社会福祉事業の担い手として、福祉施設を運営するなど活躍してきました

現在、福祉サービスは、措置制度から契約制度にかわり、介護も保育も施設・在宅問わず、株式などの民間サービスが増えてきており、その適正な運営や公平性、透明性の確保が見直されています

H28社会福祉法改正に伴い、社会福祉法人の公益性・非営利性を踏まえ、「地域における公益的な取組」の規定が創設され、地域社会への貢献が求められています

コミュニティーソーシャルワーカー（CSW） / 北区社会福祉協議会

現在、CSWが配置されているのは、桐ヶ丘地区と神谷・東十条地区の2ヶ所です

地域
福祉

社会福祉協議会は、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを推進することを使命とし、民間団体としての柔軟性を活かした事業をおこなう社会福祉法人です

社会福祉法の中にも定められ、北区では王子に事務所があります。高齢化率の高い桐ヶ丘地区にはCSWがH30年度より配置され、日々相談を受けています

「身近な問題を皆さんと一緒に解決していく仕組みづくりをおこなう役割」として、ぷらっとほーむ桐ヶ丘で、子どもから大人まで全世代対象のご相談にのります



ヴィ長屋 / 社会福祉法人ドリームヴィ

「王子養護学校の卒業生を応援する会(ヴィの会)」を土台に始めました

障害のある方も障害の無い方も一緒に地域で暮らしていける事を目指して、平成15年10月社会福祉法人ドリームヴィとして事業を開始しました



平日10時～17時営業

桐ヶ丘商店街の中にお出汁に拘った和食の「カフェレストラン長屋」を5年前から営業をしています



障害のある方々とスタッフで、ゆったりとした雰囲気の中で気軽にお立ち寄り頂ける場を作ってお待ちしています

LIFE SCHOOL こどもの森 / 社会福祉法人つぼみ会

地域とともに子育てを楽しみ、社会貢献の活動(CSR)に取り組みます

平成9年に家庭保育室として、旧大宮市でスタートし、平成13年に認可保育園を設立しました

平成24年に北区立東田端保育園の指定管理を受け、平成30年にLIFE SCHOOL 桐ヶ丘こどものもりを開園しました

子どもたちが自ら考え、遊び、学び、生活していく「生きることを学ぶ場所」をつくっていきます



桐ヶ丘やまぶき荘高齢者あんしんセンター / 東京聖労院

主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師、見守りコーディネーターがみなさんを支援します

大正時代から生活困窮者の救済事業を行い、昭和3年、豊島区雑司が谷にて東京聖労院と称し、昨年、創立90周年を迎えました

現在は本部を東京都清瀬市に移し、高齢福祉事業（H13からやまぶき荘）、児童福祉事業（R元年から郷小わくわくひろば）など地域を元気にするための事業をしています。

北社協、ドリームヴィと共同で「桐ヶ丘サロンあかしや」を運営。「ふらっと一休み無料休憩所 ときどきイベント処」

運動会
風船バレー



節分会